

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	健康で互いに支え合うまちづくり	分野(章)番号	3
政策名(項)	地域医療体制の充実	政策(項)番号	II
施策名(目)	地域医療の確保と充実	施策(目)番号	②
担当課	保健福祉課	担当課長	谷津 俊幸

1. 施策の基本方針

施策目的	<p>・広域拠点病院や民間の医療機関と連携を強化し、町民が安心して暮らすことができるよう、医療体制の整備を推進し、地域医療の充実を図るため、医師会や歯科医師会、薬剤師会との協力のもとに在宅当番医制を継続し、医療の観点から献血事業を充実させる。</p>
------	---

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境、国・県の動向等)							
	<p>・休日や夜間等における救急医療を含む地域医療体制の整備充実が求められている。 ・町内の医療機関だけでなく広域的な連携強化が必要である。</p>	<p>・第6次宮城県地域医療計画が平成25年4月に公示され、平成25年度から平成29年度までの5年間ににおける医療提供体制の確立に向けた方針が示された。 ・平成26年度中に、仙南2市7町で運営する「平日夜間初期急患センター(内科)」が大河原町に開設される予定である。 ・イベント会場における献血は、200ml採血がなくなり400ml採血のみとなる予定である。</p>							

施策指標(成果指標)	指標の内容	H23							備考(他団体状況含む)
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標		
主要	休日当番医実施回数(日)	目標			70日	70日	70日		
		実績	69日	71日	70日			70日	
		達成率			100%				
参考①	医科休日当番利用者数(人)	目標			800人	800人	800人		
		実績	729人	827人	726人			800人	
		達成率			91%				
参考②	歯科休日当番利用者数(人)	目標			95人	95人	95人		
		実績	93人	111人	92人			95人	
		達成率			97%				
参考③	献血推進計画達成率(%)	目標			100%	100%	100%		
		実績	88%	86%	98%			100%	
		達成率			98%				
参考④	献血協力者数(人)	目標			235人	235人	235人		
		実績	212人	207人	231人			235人	
		達成率			98%				

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		6,132千円	6,338千円	6,246千円	6,152千円	5,856千円	5,856千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	49千円	54千円	65千円	50千円	41千円	41千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	6,083千円	6,284千円	6,181千円	6,102千円	5,815千円	5,815千円
従事者数	正職員	0.35人/年	0.35人/年	0.30人/年	0.30人/年	0.25人/年	0.25人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	2,357千円	2,387千円	2,036千円	2,036千円	1,696千円	1,696千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		303千円	328千円	272千円	272千円	226千円	226千円
トータルコスト		8,792千円	9,053千円	8,554千円	8,460千円	7,778千円	7,778千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・休日当番医実施回数は目標値に達しており、他の指標も医科休日当番利用者数を除きほぼ目標値に達していることから、施策全体では成果は高い。
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・本年度の平日夜間初期急患センターの開設により、また、献血事業について企業や学校との協力体制を拡充することにより、今後成果を向上させる余地はある。
	貢献度	b	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]		・地域の医師会等との協力により年間を通して確実に在宅当番医制や病院群輪番制を運用することで、町民への医療提供が確保され、また、献血事業により輸血に必要な血液を確保することで地域における医療行為の確実な実施につながり、結果として地域医療体制の充実に資することとなるため、貢献度は高い。	

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での医療確保には、町民が「かかりつけ医」を持つことが効果的であるため、その周知・啓発を図る必要がある。 ・献血協力者の確保については、更なる町民への啓発や新たな協力事業所等の発掘を進める必要がある。 ・耕野健康管理センターについては、地域のニーズ等を踏まえた活用を検討していく必要がある。
----	---

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	・現行の救急医療受入体制を継続するとともに、献血協力者の確保と健康管理センターの活用を図りながら、地域医療の確保に努めていく。
------	------------------------	---------	---

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。